

令和6年度 岡谷市 予算編成の大要

令和6年2月

岡 谷 市

令和6年度の岡谷市当初予算案及び関係議案を議会に提出し、ご審議をいただくにあたり、予算編成の方針及び大要を申し上げ、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願いするものであります。

令和6年度は、「第5次岡谷市総合計画後期基本計画」の初年度となることから、将来都市像であります「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」の実現に向けて、前期基本計画の期間中に実施してまいりました取組の成果を検証しつつ、喫緊の課題等を踏まえ、次の5年間の持続的な成長に結びつけていかなければなりません。

本市の人口動態は、令和4年に52年ぶりに転入者数が転出者数を上回る「転入超過」となったものの、令和5年は再び「転出超過」に転じており、全国の地方都市と同様に、少子高齢化による自然減に加え、若年層の転出による社会減という「二重の人口減少」に直面しております。

こうした中、近年では、都市部から地方への移住要因として、子育て支援や教育環境を重視する傾向があることから、他に先駆けた子育て支援や岡谷市ならではの魅力と活力ある教育環境の構築など、子育て世代に選ばれるまちづくりを進めるとともに、岡谷市の将来を担う子どもたちの郷土愛の醸成に取り組むことで、若者のふるさと回帰を促進してまいります。

また、国土交通省が実施した「若年層の東京圏への移住要因に関する調査」では、仕事を重視する声が上位を占めていることから、既存企業の成長支援に加え、多様な働き方と子育ての両立を図ろうとする企業を積極的に後押しする必要があります。

このほか、すべての市民の皆様が、健康で生きがいを持って暮らすことができるまちづくりを推進するとともに、まちの利便性と魅力を高めるための生活基盤の充実に取り組み、誰もが暮らしやすく、若者や女性が「戻りたい、働きたい、住み続けたい」と思える、寛容的で魅力的な岡谷市を市民の皆様とともに作り上げるため、各種の施策、事業に全力を傾注して取り組んでまいります。

内閣府が公表した「令和6年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」によりますと、令和5年度の我が国経済は、コロナ禍の3年間を乗り越え改善しつつあり、30年ぶりとなる高水準の賃上げや企業の高い投資意欲など、前向きな動きが見られ、デフレから脱却し、経済の新たなステージに移行する千載一遇のチャンスを迎えているとしております。

また、賃金上昇は輸入価格の上昇を起点とする物価上昇に追いついておらず、個人消費や設備投資は、依然として力強さを欠いているとしております。

このため、政府は国民の可処分所得を下支えするとともに、構造的賃上げに向けた供給力の強化を図るため、「デフレ完全脱却のための総合経済対策」を策定し、その裏付けとなる令和5年度補正予算を迅速かつ着実に執行するなど、当面の経済財政運営に万全を期すとしております。

また、令和6年度の経済財政運営に当たっては、引き続き「新しい資本主義」の旗印の下、社会課題の解決に向けた取組自体を成長のエンジンに変えることによって、民間需要主導の持続的な成長とデフレからの脱却、「成長と分配の好循環」の実現をめざすとしております。

このほか、経済の再生が最優先課題であり、経済あつての財政の考えの下、経済を立て直し、そして財政健全化に向けて取り組み、財政への信認を確保していくとしております。

「**経済財政運営と改革の基本方針2023**」では、我が国を取り巻く環境が激変する中、経済再生と財政健全化の両立を図るため、潜在成長率の引上げと社会課題の解決に重点を置き、中長期的な視点を重視した経済財政運営などに取り組み、高齢化、人口減少が進む中においても、経済・財政・社会保障が一体で持続可能なものとしていくとしております。

このような見通しに基づく「**令和6年度予算編成の基本方針**」では、足元の物価高に対応しつつ、持続的で構造的な賃上げや、デフレからの完全脱却と民需主導の持続的な成長の実現に向け、人への投資、科学技術の振興及びイノベーションの促進、GX、DX、半導体・AI等の分野での国内投資の促進、スタートアップへの支援、少子化対策・こども政策の抜本的強化、多様性が尊重され、すべての人が力を発揮できる包摂社会の実現など、新しい資本主義の実現に向けた加速や、防災・減災、国土強靱化などの国民の安全・安心の確保、外交・安全保障環境の変化への対応を始めとする重要な政策課題について、必要な予算措置を講ずるなど、メリハリの効いた予算編成を行うとしております。

こうした方針に基づく国の令和6年度当初予算案は、一般会計の歳出総額を**112兆5,717億円**としており、2年続けて110兆円を超える予算規模となっております。

また、総務省が公表した「**令和6年度地方財政対策**」によりますと、地方団体

が住民のニーズに的確に応えつつ、こども・子育て政策の強化、地域のデジタル化・脱炭素化の取組等の推進、自治体施設の光熱費高騰への対応などの重要課題に対応し、行政サービスを安定的に提供できるよう、地方交付税については、前年度を3,060億円上回る、**18兆6,671億円**を確保するほか、地方の一般財源総額については、前年度を5,545億円上回る、**62兆7,180億円**を確保することとしております。

こうした考え方に基づく地方財政計画の規模は、前年度比1.7%増の**93兆6,400億円**程度、公債費などを除く地方一般歳出につきましては、前年度比2.6%増の**78兆4,600億円**程度が見込まれているところであります。

岡谷市におきましては、コロナ禍後、地域経済の緩やかな回復傾向がみられ、個人給与所得の増が見込まれるものの、国の定額減税の影響などにより、個人市民税、法人市民税をはじめ、市税全体で減収を見込んでおります。

さらに、令和6年度以降の一般会計の財政推計では、人口減少に伴い歳入全般で減が見込まれ、歳出においては、扶助費、公債費、公共施設等の維持管理経費の増のほか、定年年齢の引き上げに伴う人件費の増などを見込んでおります。

このような中であっても、引き続き、子育て支援や産業振興、市民の安全・安心を確保するための施策と健全財政の堅持に向けた取組との調和を図りながら、後年度の財政需要に配慮した安定的な行財政運営に努めなければなりません。

そのため、新たに策定しました「**第2次岡谷市行財政改革プログラム**」に基づき、公共施設等の長寿命化に向けた計画的な修繕、施設の統廃合などによる最適化に向けた取組のほか、歳入確保と歳出削減、人材育成と意識改革など、たゆまぬ行財政改革に取り組み、人口規模や財政規模に見合った時代にふさわしいまちづくりを進めてまいります。

この度、提出いたします令和6年度当初予算案は、「第5次岡谷市総合計画」に掲げる将来都市像「**人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷**」の実現に向けて、

- ・ ともに支えあい、健やかに暮らせるまち
- ・ 未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち
- ・ 人が集い、にぎわいと活力あふれるまち
- ・ 安全・安心で、自然環境と共生するまち
- ・ 快適な生活を支え、住み続けたいまち

- ・ みんなでつくる、確かな未来を拓くまち

の6つのまちづくりの基本目標を基調とする中で、限られた財源を喫緊の政策課題に重点配分し、より効果的な施策展開を図るため、

- ・ 笑顔あふれる子どもの育成
- ・ まちの元気・活力の創造
- ・ 住み心地の良い生活基盤の充実

の3つを重点施策に掲げ、必要な施策・事業に財源を集中した「笑顔輝く 元気創造予算」として編成しております。

あわせて、国が策定しました「デフレ完全脱却のための総合経済対策」等を踏まえ、切れ目のない、より効果的な事業展開を図るため、昨年度に引き続き、令和5年度補正予算と令和6年度当初予算を一体とした「14か月予算」として編成をしております。

こうした考え方に基づく令和6年度の一般会計当初予算額は総額224億円、前年度比では6億円、2.8%の増としております。

また、一般会計・特別会計の合計では総額281億7,090万円、前年度比では6億1,010万円、2.2%の増としております。

一般会計歳入の主な事項であります。市税につきましては、令和5年度決算見込額を基に65億7,800万円、前年度比では1億1,200万円、1.7%の減を見込んでおります。

地方交付税につきましては、令和5年度決算見込額や地方財政計画などを基に49億円、前年度比では2,600万円、0.5%の増を見込んでおります。

また、一般会計歳出のうち、事業費の増減が大きい主な事項であります。総務費では、防災行政無線等デジタル化整備事業費の増、市役所庁舎等空調設備更新事業費の皆増などにより、前年度比3億2,417万7千円、15.3%増の24億4,590万5千円、民生費では、地域医療介護総合確保基金事業補助金が皆減となる一方、障がい者自立支援給付費、児童手当の増などにより、前年度比2億8,706万9千円、3.9%増の76億2,140万4千円、商工費では、中小企業金融対策事業費の減などにより、前年度比7,343万1千円、4.1%減の17億893万1千円、消防費では、消防団屯所整備事業費及び消防団車両更新事業費の皆増により、前年度比9,474万3千円、16.1%増の6億8,329万4千円、教育費では、市民水泳プール整備事業費などが減と

なる一方、川岸学園整備事業費及び市営庭球場改修事業費の増などにより、前年度比**1億8,273万3千円、10.1%増**の**19億8,567万9千円**、公債費では、借換債元金償還金の減により、前年度比**2億638万9千円、5.7%減**の**34億1,330万5千円**としております。

次に、企業会計につきましては、水道事業・下水道事業・病院事業の3つの企業会計の収益的支出及び資本的支出の合計は**134億497万6千円**で、前年度比**442万6千円、0.03%の増**としております。

それでは、基調に沿って、令和6年度当初予算案の概要を順次説明してまいります。

はじめに、基本目標『ともに支えあい、健やかに暮らせるまち』について説明申し上げます。

まず、**結婚に対する支援**といたしまして、新たな男女の出会いの場を創出するため、**恋つむぐ岡谷 出会いの場 創出事業**として、ブラッシュアップセミナー及び婚活イベントを開催するほか、結婚に伴う住居費及び引越費用を支援する、**おかやでスタート 結婚新生活支援事業**により、結婚に対する経済的な不安の解消に努め、結婚のきっかけとなる男女の出会いの場の創出から、結婚・定住までトータル的にサポートしてまいります。

母子保健の充実といたしましては、**不妊及び不育症治療費等助成事業**として、タイミング療法、人工授精、体外受精など、医療保険の適用・適用外を問わず幅広い支援を行うことで、不妊治療等の際の経済的負担の軽減を図ってまいります。

また、産後の初期段階における支援として、医療機関等への宿泊や通所によるサービスに必要な経費を助成する**産後ケア事業**につきましては、新たに助産師による訪問相談を助成対象に加えるとともに、助成額を拡充して実施してまいります。

さらに、**出産・子育て応援事業**では、妊娠から子育て期までの伴走型相談支援に加え、経済的負担を軽減するための**出産・子育て応援給付金**を支給するなど、引き続き、妊娠から出産、乳幼児期までの切れ目のない包括的な支援を実施してまいります。

子どもの育成支援といたしましては、新たに「**岡谷市こども家庭センター**」、愛称「**まゆっこベースおかや**」を設置し、母子保健と児童福祉、さらには教育委員会との連携により、周産期から青年期までの相談を一体的に実施し、すべての妊産婦、子育て世帯、子どもに対する切れ目のない支援につなげてまいります。

また、新たに**小児科・産婦人科オンライン相談事業**として、日中、夜間問わず、いつでも小児科医や産婦人科医等とつながることができるオンライン相談を導入することで、安心して子育てができる環境を整えてまいります。

このほか、保育サービスのさらなる充実を図るため、**育休退園**の基準について、

現行では出産後2か月まで在園可能としておりますが、令和6年度からは出産後6か月まで在園できるよう拡大することで、子育て支援の充実に努めてまいります。なお、学童クラブにおきましても同様に拡大してまいります。

子育て世帯への経済的支援では、18歳までの子どもの医療費を支援する子ども医療費給付事業、幼児教育・保育の無償化に伴う**副食費の減免**、小中学校における**就学援助費**などにより、子育て世帯の経済的負担の軽減に努めてまいります。

とりわけ、**就学援助費**については、学校給食費に対する支給割合を10割とすることで、経済的負担感の大きい低所得世帯等を対象として**学校給食費の無償化**を実現いたします。

また、学校給食における物価高騰への対応として、令和5年度分を含め、引き続き、給食費の値上げ相当分を全額公費で負担するとともに、新たに保育園においても同様に支援してまいります。このことによりまして、給食の質と量を維持し、子どもたちの健全な成長を支援するとともに、子育て世帯のさらなる経済的負担の軽減を図ってまいります。

さらに、3歳未満児の保育料については、長野県が令和6年度から取り組む子育て支援策に基づき、第2子は半額、第3子以降を完全無償化とするほか、市独自の支援策として、一定の要件を満たす子育て世帯については、第1子から**完全無償化**としてまいります。

このほか、安心して子どもを育てられる住まいの提供を図るため、小萩K市営住宅の2戸にユニットバス、網戸を設置するほか、設置対象以外の住戸へ入居する場合に、風呂釜等の設備を設置してまいります。

さらに、子育て世帯の家賃を減免し、経済的負担の軽減と若年層の安心の暮らしづくりを促進してまいります。

地域福祉の推進では、**重層的支援体制整備事業**として、支援関係機関との連携体制を構築し、対象者の属性を問わない相談支援、多様な参加支援、世代や属性を超えて交流できる地域づくりに向けた一体的な支援により、地域住民の複合化・複雑化した支援ニーズに対応してまいります。

また、岡谷市社会福祉協議会との連携により実施しております**成年後見支援センター事業**では、市と成年後見支援センターが、協働して中核機関としての役割を果たし、身寄りのない方の権利擁護事業に加え、エンディングノートの作成

など終活支援事業に取り組んでまいります。

このほか、新たに**犯罪被害者等支援事業**として、岡谷市犯罪被害者等支援条例の制定に合わせ、各種の支援を実施することで、犯罪被害者等に寄り添い、被害からの早期回復や軽減、日常生活の再建を図るとともに、誰もが安心して暮らすことができる地域社会の実現をめざしてまいります。

高齢者福祉の推進といたしましては、医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療と介護の提供体制の構築を進めてまいります。

また、高齢者の心身の多様な課題に対して、きめ細かな支援を実施するため、**高齢者の保健事業と介護予防等の一体的事業**として、個々の健康状態に応じた運動習慣や食習慣などの個別指導を行う、シニア運動療法教室を開催するほか、高齢者のフレイル予防を図るため、地域の通いの場において医療専門職による講座の実施や健康相談などに取り組んでまいります。

このほか、**一般介護予防事業**として、介護予防普及啓発、地域におけるリハビリテーション活動の支援など、各種の取組を通じて、高齢者が持てる能力を発揮しながら、住み慣れた地域で安心して生活することができるまちづくりを進めてまいります。

障がい者（児）福祉の推進といたしましては、「第5次岡谷市障がい者福祉計画」のほか、新たに策定した「第7期岡谷市障がい福祉計画」及び「第3期岡谷市障がい児福祉計画」に基づき、地域生活支援の充実、自立支援と社会参加の促進、暮らしやすい環境の整備など、障がい者施策の一層の推進を図り、障がいの有無にかかわらず、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会の形成をめざしてまいります。

社会保障の円滑な運営といたしましては、**国民健康保険事業**について、財政運営の責任主体であります長野県とともに運営を担い、安定的な財政運営に努めてまいります。

こうした中、令和6年度については、「長野県における国民健康保険運営の中期的改革方針」に基づき、資産割を廃止し、所得割、均等割、平等割の3方式にするとともに、税率につきましては、被保険者の急激な負担増とならないよう基金繰入を行いつつ、長野県から示されました標準保険税率に基づき、一人当たり

平均年税額において、約3.54%増の改定をお願いすることとしております。

生活保護に至る前の段階での自立支援の強化を図る、**生活困窮者自立支援事業**では、自立相談支援を核に、就労支援、住居確保支援、家計改善支援など、それぞれの状況に応じたきめ細かな相談、対応を行い、生活困窮者の自立に向けて幅広く支援してまいります。

このほか、心配ごと相談、消費生活相談、女性のための相談、ひとり親家庭相談など、生活に関する多様な相談窓口を一元化した**福祉総合相談事業**を継続し、それぞれの事情に応じて専門の相談員が丁寧な対応を行ってまいります。

保健・医療の推進では、**健康づくりの推進**といたしまして、新たに策定した「第4次岡谷市健康増進計画」に基づき、生活習慣病の予防、疾病の早期発見と重症化予防のための各種取組を展開し、市民の健康の保持と増進を図ってまいります。

また、市民の健康に対する意識の向上や各種健診の受診率向上を図るため、受診者及び健康づくりに関する講演会の参加者などに対して、オカヤペイのポイントを付与する**健康ポイント事業**を継続実施してまいります。

地域医療体制の推進といたしまして、岡谷市病院事業では、天野病院事業管理者、内山病院長のもと、最大の特長であり強みであります、「**多機能**」を活かした病院運営を進めるとともに、診療体制の維持・充実に努め、市民の生命と健康を守る市民病院として、地域医療の拠点的な役割を果たしつつ、質の高い医療サービスを継続的に提供し、市民の信頼や期待に応え、親しまれる病院づくりを推進してまいります。

また、医療体制の充実に不可欠な医師の確保につきましては、病院事業管理者とともに、引き続き信州大学医学部等への訪問を重ね、岡谷市民病院の診療体制の充実に努めてまいります。

続きまして、基本目標『**未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち**』について説明申し上げます。

岡谷市教育大綱に教育理念として掲げます、**自立し、共生し、創造性溢れる『岡谷のひと』**づくりの実現に向けて、子どもたちの確かな学びと成長の支えにより、自己肯定感と自己有用感を醸成するとともに、豊かな感性と人間性を育みながら、家庭・学校・地域・行政の協働により、**岡谷のひと**づくりを推進してまいります。

また、生涯を通じて学び続け、スポーツに親しむ環境づくりに取り組んでまいります。

学校教育の推進では、川岸学園構想に基づき、公立の幼保連携型認定こども園併設の施設一体型義務教育学校を整備するため、新たに**川岸学園整備室**を設置し、異年齢の子どもたちをつなぐ、新たな学び舎の創出に向けて事業を推進してまいります。

なお、令和6年度につきましては、施設整備に係る測量調査、基本設計、実施設計のほか、開校準備検討委員会の開催、先進事例等の研究を行ってまいります。

また、**チーム岡谷による学びの創生・連携推進事業**につきましては、引き続き主幹指導主事を配置し、小中学校における学びの改革を通じて、子どもたちの学力向上を図るとともに、おかや絹結プログラムの実践などにより、幼保小中の連携強化を図ってまいります。

さらに、現在中学2年生を対象に実施しております**平和体験研修事業**につきましては、広島市への派遣生徒数を増員するほか、新たに小学6年生の全児童を対象として、阿智村にあります**満蒙開拓平和記念館**において研修を行うことで、命と平和の大切さを学ぶ教育機会を充実してまいります。

このほか、経済的理由により修学に困難がある学生等に対して経済的支援を行う**岡谷市育英資金奨学金**について、貸付額の拡充を図ることで岡谷市の未来を担う若者の修学機会の確保と人材育成を後押ししてまいります。

部活動地域移行推進事業では、休日の部活動の運営を学校から地域のスポーツクラブや団体等へ移行していくため、検討組織であります「岡谷市中学校部活動地域移行検討委員会」を中心に研究・検討を進めるほか、休日の部活動を担う指導員を増員配置することで、望ましい部活動の環境整備と教員の働き方改革

を進めてまいります。

施設整備では、上の原小学校敷地内の舗装整備及び岡谷南部中学校の体育館屋根等の防水工事を行うほか、計画的に進めております**学校トイレの洋式化**については、岡谷東部中学校中校舎のトイレを整備することとし、安全・安心で快適な学習環境の整備を進めてまいります。

生涯学習の推進では、次期の「岡谷市生涯学習推進計画」を策定するほか、人生100年時代を豊かなものにするため、**学びを活かす岡谷学 コレカラ岡谷事業**として、地域の歴史や文化を学ぶ機会を提供するとともに、その学びを地域に還元し、後世に伝承することができるひとづくりに取り組んでまいります。

市立岡谷図書館では、市町村と県による**協働電子図書館「デジとしょ信州」活用推進事業**及び**読書バリアフリー推進事業**により、市民誰もがより自由に図書館サービスを受けることができるよう努めてまいります。

スポーツ・文化の振興では、**スポーツの振興**といたしまして、市民ひとり1スポーツの実現をめざし、市民がスポーツを「する」、「みる」、「ささえる」ことで、多様な形でスポーツに関わり、スポーツを通して心と体を養い、はつらつとした暮らしを送ることができるよう、スポーツ機会の充実とライフスタイルに応じたスポーツ活動を推進してまいります。

令和10年に長野県で開催されます**第82回国民スポーツ大会**及び**第27回全国障害者スポーツ大会**につきましては、卓球競技及びアイスホッケー競技が岡谷市で開催されることが内定しております。また、トライアスロン競技については諏訪湖周の2市1町での共同開催となります。

今後、実行委員会組織の立ち上げに向けて、関係機関との調整を図りながら事業を推進してまいります。

このほか、**スポーツ環境の整備・充実**として、国民スポーツ大会等の開催を見据えて、**岡谷市民総合体育館の大規模改修工事**に向けた実施設計業務のほか、市営庭球場の**人工芝コート6面の張替工事**を行い、市民一人ひとりが安全で快適にスポーツ活動を行うことができる環境を整えてまいります。

文化・芸術の振興として、岡谷蚕糸博物館シルクファクトおかやでは、**開館**

60周年・リニューアル10周年記念事業として、岡谷蚕糸博物館の歩みを振り返るとともに、桂由美さんとのシルクファッションショーやギャラリートークなどを開催することで、岡谷市民のみならず、より多くの方にシルクの歴史や魅力を発信してまいります。

また、令和6年は**武井武雄生誕130年**になることから、全国巡回展の開催により武井武雄の童画文化を全国に発信するとともに、市内におけるプロモーション事業を展開することで、市民のシビックプライドの醸成を図ってまいります。

このほか、**文化財の保護・活用**として、平成14年に岡谷丸山遺跡から出土した**矢柄研磨器**の国重要文化財の指定に向けた取組を推進してまいります。

また、県宝にも指定されている岡谷市の貴重な文化財のひとつであります、**旧渡辺家住宅**につきましては、令和5年度に引き続き、茅葺屋根の葺き替え工事、中門の補修工事などを行い、適正な保全に努めてまいります。

さらに、**旧岡谷市役所庁舎保全事業**として、国の登録有形文化財であり、岡谷市及び市民の貴重な財産であります旧岡谷市役所庁舎を適正に保全し、後世に着実に継承するため、耐震補強工事を実施してまいります。

このほか、**岡谷市史編さん事業**につきましては、新たに**市史編さん室**を設置し、編さん基本方針の策定、歴史的資料の収集・整理、市史に関する調査研究などを進めてまいります。

続きまして、基本目標『人が集い、にぎわいと活力あふれるまち』について説明申し上げます。

産業の振興では、**工業の振興**といたしまして、4月からスタートします新たな「岡谷市工業活性化計画」に掲げる将来工業都市像「未来を創造する、高度なもののづくりのまち」の実現をめざして各種施策を展開してまいります。

産業集積の強化では、工場の新設・移転時に土地取得額の一部などを助成する**商工業振興条例補助金**のほか、工場等の家賃を助成する**企業立地支援補助金**などにより、市外企業の誘致をはじめ、市内企業の事業拡大と流出防止、空き工場の活用促進に取り組み、本市の強みであります産業集積の維持・拡大に努めてまいります。

また、新規創業者支援といたしまして、「創業支援等事業計画」に基づく、起業、技術相談、販路開拓の支援や**創業のまち岡谷実現事業**による資金面での支援のほか、諏訪圏工業メッセの出展ブースを確保するなど、創業まもない中小企業者の経営基盤の確立や受注開拓を支援し、地域経済の活性化と雇用拡大を図ってまいります。

工業活性化対策の推進では、市内企業の新技術・新製品等の開発を支援する、**新技術・新製品等ものづくりチャレンジ企業応援事業**について、**グリーン成長事業枠**として、国のグリーン成長戦略における14の重点分野に取り組む企業に対して補助限度額を引き上げ、GXへの挑戦を後押ししてまいります。

また、**カーボンマネジメント支援事業補助金**として、市内企業が自社から排出する温室効果ガスの量を把握するとともに、その削減のための取組を支援することで、温室効果ガスの排出抑制とエネルギーコストの削減の両立による経営基盤強化を図ってまいります。

さらに、新たに**ものづくり現場高度化促進事業補助金**として、多くの市内製造業が抱えている人手不足、デジタル化の課題を解消するため、省力化や自動化のための設備投資に要する経費及びデジタル技術の活用・導入に要する経費を助成することで、市内製造業の業務効率化と生産性の向上を促進するとともに、企業競争力の強化を後押ししてまいります。

このほか、**展示会共同出展事業**として、現在半導体メーカーが数多く進出し、注目が集まっている九州で行われる大規模工業展示会へ共同出展するなど、市

内企業のPRとあわせて、新たな販路開拓と受注確保に努めてまいります。

本市の産業振興拠点であります、**テクノプラザおかや**につきましては、建設から20年余りが経過し、経年による劣化が進行していることから、年次計画により長寿命化改修などを実施してまいります。なお、令和6年度につきましては、南側会議室等の個別エアコン設置工事を実施してまいります。

商業・サービス業の振興といたしましては、新たに策定しました「第2次岡谷市商業活性化計画」に商業の将来像として掲げる「人が集い、暮らしに彩りと潤いがあふれ、楽しいがあるまち」の実現をめざして積極的に各種施策を展開してまいります。

商業等振興補助金として、新規出店の際の改修や、既存店舗の改修に要する経費などを助成することにより、長期的に商業活動を展開する店舗を増やすとともに、回遊性のある商業地の形成をめざしてまいります。

また、岡谷TMOとの連携を深める中で、商業会等が行う販売促進活動を積極的に支援するほか、施設整備事業を拡充し、新たな課題に対して支援を行い、商業会等の連携による取組を促進することで、中心市街地のにぎわいをつくり出し、消費需要の喚起に努めてまいります。

農業の振興といたしましては、**省エネ農業推進事業補助金**として、省エネ対策資材等の購入に要する経費を助成するほか、プラスチックごみの排出抑制に貢献することができる**生分解性マルチ**の購入費に対して助成することで、環境負荷の軽減とあわせて農業経営の安定化を図ってまいります。

また、好評でありました**岡谷シルクスイートオーナー事業**を継続実施することとし、栽培・収穫体験などの生産過程を通じて、関係人口の創出・拡大を図るとともに、シルクスイートのブランド化をめざしてまいります。

このほか、**林業の基盤整備**として、**林道常現寺線の舗装工事**のほか、**林道横川山線の改良工事**を進めてまいります。

ブランドの振興といたしましては、シルク岡谷、糸都岡谷の歴史と文化を継承するとともに、岡谷ブランドの核となるシルクを活かしたまちのにぎわいを創出するため、**岡谷シルク推進事業**として各種の取組を展開いたします。

まず、**岡谷シルクブランドの発信**として、岡谷シルクブランド認証製品・サー

ビスの開発を促進するため、新製品等の開発費の一部を助成することで、認証製品の拡大とブランド力のさらなる向上を図るほか、「岡谷シルク」の地域団体商標登録をめざしてまいります。

次に、**蚕糸業の歴史文化の伝承**として、養蚕体験等を通じて、シルク産業の将来を支える人材の育成に努めるほか、岡谷産繭の品質向上、安定供給に向け、市内製糸業者が岡谷産繭を購入する際の買取価格の上乗せ補助を実施してまいります。

次に、**岡谷シルク体験**では、岡谷絹工房における滞在型ワークショップなど、岡谷ならではの体験プログラムを提供することで、市外から多くの人を呼び込み、交流人口、関係人口の創出・拡大を図ってまいります。

観光の振興では、諏訪湖サイクリングロードの全線開通を契機として、諏訪湖の景観を活かした**サイクリングツアー**の開催のほか、本市を象徴する**モニュメント**を岡谷湖畔公園へ設置することで、より多くのサイクリング愛好家や観光客を呼び込んでまいります。

働く環境の充実では、新たに**家族にもやさしい職場づくり**でU I Jターン強化事業として、コンサルタントによる市内企業の強み・魅力の向上を後押しするとともに、採用に向けた効果的なP R戦略支援などを行い、若者のU I Jターンの促進と採用力の強化を図ってまいります。

また、**人結び 採用チャレンジ応援補助金**として、求人情報サイトへの掲載に要する経費、求人用ホームページの新設・改修に要する経費、採用コンサルタントの導入に要する経費などを助成することで、市内企業の採用活動を支援してまいります。

移住・定住の促進では、市内へ転入し、かつ住宅を取得した方に対して最大100万円を補助するほか、大学等へ通う学生及び29歳以下の単身勤労者に対する民間賃貸住宅の家賃補助を行う**若者移住者 住まいの支援事業**について、新たに、夫婦ともに29歳以下の世帯等に対する家賃補助を行うこととし、若者の移住・定住をさらに促進してまいります。

また、新たに**移住者交流 おかや暮らしトーク事業**として、地域おこし協力隊が中心となり、移住者と地域住民との交流の機会を設け、交流を深めることで、移住者の暮らしの不安解消を図るとともに、地域活動への参加支援、さらには定

住促進へつなげてまいります。

続きまして、基本目標『安全・安心で、自然環境と共生するまち』について説明申し上げます。

安全対策の推進では、**危機・防災・減災対策の推進と消防力の強化**といたしまして、消防団装備の充実と地域防災力の強化を図るため、消防団に配備しております消防団車両を計画的に更新しております。

令和6年度につきましては、第3分団に災害対応型多機能消防車両を配備し、将来発生が予想されております大規模地震や自然災害への備えと地域の安全・安心を確保してまいります。

また、緊急時の情報発信機能を強化するとともに、住民への情報伝達をより確実なものにするため、**防災行政無線のデジタル化及び防災気象情報システムの更新**を進めてまいります。

このほか、地域の防災・減災の担い手の育成を促進するとともに、自主防災組織の自主的な活動を支援するため、新たに**防災士の資格取得**に対する支援体制を整えてまいります。

近年、台風や集中豪雨による被害が相次ぐ中、河川氾濫や浸水被害を未然に防ぐため、市が管理する普通河川の河床整備や護岸改修などを行うほか、土砂や樹木によって流れが阻害されている河川の浚渫を計画的に実施する**河川緊急浚渫推進事業**に引き続き財源を重点配分して取り組んでまいります。

このほか、計画的に進めております**ため池整備事業**では、長野県により「防災重点農業用ため池」に指定されている市内7箇所のため池のうち、川岸三沢にあります明玉ため池、西除ケ入ため池、東除ケ入ため池、長地中村にあります常現寺ため池の廃止工事等を進めることで、地域住民の安全・安心を確保してまいります。

生活安全対策の推進では、自転車利用者のヘルメット着用を促進し、重大事故を未然に防止するため、高校生等及び65歳以上の市民を対象として、**自転車用ヘルメット購入費**を助成してまいります。

環境保全の推進では、「岡谷市環境基本条例」に基づき、環境施策を総合的かつ計画的に推進するため、令和7年度を初年度とします「第5次岡谷市環境基本計画」の策定及び「第2次岡谷市地球温暖化対策実行計画」の見直しに取り組ん

でまいります。

地球温暖化防止対策の推進といたしまして、市役所庁舎のほか、中村A、中村C及び学ヶ丘市営住宅の共用部分の**照明LED化事業**を実施するほか、各区が行う防犯灯のLED化及び公会所等の照明設備のLED化に要する経費に対して支援してまいります。

また、**住宅用再エネ設備等導入促進事業**として、個人住宅に設置する蓄電システム及び電気自動車充放電設備の導入経費の一部を助成することで、再生可能エネルギーの利用促進と二酸化炭素排出量の削減を図ってまいります。

生活環境対策の推進では、**プラスチック資源循環促進事業**として、従来焼却しているプラスチック製品廃棄物をリサイクルすることにより、燃やすごみの減量やゼロカーボンを推進するため、令和7年度の市内全域での分別収集に向け、モデル地区において試験的な回収と性状調査などを実施してまいります。

居住環境の充実では、**空き家対策事業**として、空き家所有者等へのアプローチや相談会の開催により、空き家の発生予防と適正管理に努めるとともに、空き家の除却及び家財等の処分に要する経費に対して助成することで、増加している空き家の解消と利活用を促進してまいります。

また、空き家を購入した移住者に対して、移住奨励金の交付と空き家の改修費を助成する**空き家バンク 移住・田舎ぐらし応援事業**につきましては、新たに子育て世帯加算として、18歳以下の子どもと同居する世帯に対して、子ども一人当たり10万円を移住奨励金に上乗せすることで、空き家ストックの有効活用と移住・定住を促進してまいります。

続きまして、基本目標『快適な生活を支え、住み続けたいまち』について説明申し上げます。

計画的土地利用の推進として、岡谷駅周辺整備につきましては、ララオカヤの安全対策工事を行うほか、将来的な駅周辺整備の方向性を検討するため、駅周辺及び中心市街地と連続する区域の基礎調査として、本市の現況特性調査、公共施設等の利用状況調査等に着手してまいります。

また、都市公園施設長寿命化推進事業として、岡谷湖畔公園及び小井川宗平寺公園の遊具を更新するほか、鳥居平やまびこ公園につきましては、アウトドアレジャー施設の設置の可能性について調査を行うなど、誰もが楽しく快適に、安全で安心して利用できる公園整備を推進してまいります。

都市基盤の整備では、幹線道路と交通網の整備といたしまして、県事業であります地域幹線道路整備事業により、主要地方道下諏訪辰野線の川岸小学校前から観蚕橋までの間の整備事業を進めてまいります。

また、新たに道路網体系検討事業として、通信事業者が保有するビッグデータを活用し、交通量等の分析を行いながら、将来を見据えた幹線道路のあり方や道路網の検討を進めてまいります。

さらに、湖畔若宮地区内道路整備事業として、地区整備計画に基づき、市道岡谷110号線の整備に着手することとし、地区内の安全で良好な住環境の形成を図ってまいります。

このほか、諏訪湖スマートインターチェンジ整備事業として、地域産業の発展、市民生活の利便性の向上や地域のさらなる活性化等を図るため、地元対策委員会のほか、国、長野県、諏訪市、NEXCO中日本等と連携を図りながら事業を推進してまいります。

生活道路の整備といたしましては、交通量の多い主要幹線道路や身近な生活道路を中心に計19路線、総延長約6kmにおよぶ舗装の維持補修及び劣化が軽微な段階で修繕を講じる予防保全型の維持補修に努めてまいります。

また、橋梁維持補修事業では、これまでに実施してまいりました道路法に基づく定期点検の結果を踏まえ、令和5年度に引き続き、JR中央本線に架かります三沢跨線橋の改修工事及び中央町一・二丁目歩道橋の補修設計を実施するほか、

40箇所の橋梁点検を実施することで、安全性の確保と将来的な維持管理コストの削減を図ってまいります。

上下水道の維持・整備といたしまして、水道事業では、「岡谷市水道事業経営戦略」及び「岡谷市水道事業基本計画」に基づき、将来を見据えた経営基盤の強化を図りつつ、老朽化が進む**水道施設の再構築事業**として、河原口水源の改造工事及び横河川への水管橋設置工事を進めるほか、**水道施設の更新・耐震化**を計画的に進め、安全で安心なおいしい水を将来にわたり、安定的に供給してまいります。

下水道事業では、「岡谷市下水道事業経営戦略」をはじめとする各種計画に基づき、予防的修繕を行う**下水道ストックマネジメント事業**のほか、**下水道総合地震対策事業**により、災害に強い施設整備を推進してまいります。

続きまして、基本目標『みんなでつくる、確かな未来を拓くまち』について説明申し上げます。

地域コミュニティの振興では、男女共同参画の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、令和7年度を初年度とする「男女共同参画おかやプランⅦ」を策定してまいります。

市政運営の推進では、**公有財産の適量・適正化**といたしまして、「岡谷市公共施設個別施設計画」に基づき、計画的な維持管理、修繕、更新等を進め、少子高齢化、人口減少時代に見合った公共施設の最適化と長寿命化を推進してまいります。

また、建設から36年が経過する**市役所庁舎**につきましては、**エレベーター更新工事及び空調設備更新工事**を行うことで、施設の長寿命化を図ってまいります。

自治体DXの推進といたしましては、**入札・契約システムの共同利用化事業**として、長野県との協働による電子入札システムの導入により、入札手続きの透明性、公正性の確保、入札参加者の負担軽減とあわせ、入札契約事務の効率化を図ってまいります。

以上、令和6年度予算編成の概要を説明申し上げます。

冒頭に申し上げましたとおり、令和6年度は、第5次岡谷市総合計画後期基本計画の初年度となります。

岡谷市がめざす将来の姿であります、将来都市像「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」の実現をめざすとともに、後期重点プロジェクトに掲げました「子育てしやすい環境の実現」、「安全・安心の伸展」、「未来に向けた産業の充実」、「魅力発信と賑わいの創出」に基づく施策展開により、喫緊の課題であります人口減少や急速に進む少子高齢化に的確に対応してまいります。

令和6年度当初予算編成は、私にとって初の予算編成でありました。私の基本姿勢であります「現場第一主義」を貫徹し、絶えず現場に足を運び、市民の声に真摯に耳を傾け、すべての市民に活躍の場と生きがいがあり、「市民一人ひとりが主人公として輝けるまちづくり」に向けて、一步一步着実に前進していく所存であります。

岡谷市のさらなる発展と市民福祉の向上、そして、笑顔と元気あふれる岡谷のために、全身全霊をかけ、申し上げてまいりました施策、事業に全力を傾注して取り組んでまいりたいと決意しております。

議員各位並びに市民の皆様の温かいご理解とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます、私の所信の一端といたします。

